

令和7年度 学校経営の基本構想



1 教育目標

自ら学び 心豊かで たくましい子どもの育成

2 経営の信条

- ・「教育は人なり」 教育の原点は、人づくり。凡事を徹底し、自己研鑽と協働に努める。
- ・「創意工夫」 不易と流行を見極め、夢や志をもち新しい可能性に挑戦する。

3 経営の具体

キーワード 明るく(めあてや目標をもつ) 楽しく(かかわりつながる) 元気よく(自他の健康と命を守る)		
【確かな学力づくり】 進んで学ぶ子	【豊かな心づくり】 正しく判断し自他を大切にする子	【健やかな体づくり】 たくましく粘り強い子
① 主体的・対話的で深い学び ○学習規律、学習習慣の確立 ○学び合いの充実 ○教科の特性に応じた ICT 活用	① 自治的規範意識の醸成 ○児童会主体の規範意識の向上 ○「谷っ子の約束」の遵守 ○清掃活動の充実	① 体力・運動能力の向上 ○外遊びの励行 ○正課体育と体育的行事の充実 ○めあてのある谷っ子タイム
② 基礎学力の定着と向上 ○漢字・計算力の育成 (テストやドリル等で反復練習) ○個別、補充学習の充実	② なかま・絆づくりの推進 ○要場所のある学級づくり ○縦割り活動と異学年交流 ○自尊感情と自己有用感の向上	② 健康生活良習慣の確立 ○健康な生活リズムづくり (早寝・早起・朝ご飯・メディア依存) ○食育の推進
③ 学びの環境・風土づくり ○学びのコーチング (谷っ子マスター・大名人の挑戦) ○読書、表現活動の工夫	③ 安心・安全な生活づくり ○登下校時等の交通安全教育 ○防犯、防災教育の充実 ○危険予知能力の育成 (谷っ子ノーゲーム・ノースマホデー)	③ 教育相談活動の充実 ○全教職員でのチーム支援体制 ○SC、SSW 等関係機関や保護者との連携(ケース会議の開催)
【特別支援教育(インクルーシブ教育)の充実】 授業のユニバーサルデザイン化と合理的配慮 組織的で弾力的な支援体制の構築 通級指導教室の充実		
【保護者・地域等との連携】 信頼し合い、繋がり合う	【教職員の資質・能力の向上】 健康で、高きに和す教職員集団	
・学校支援組織との一体的推進 (学校運営協議会・一ノ谷教育支援会・PTA等) ・学校情報の発信(学校だより・新聞・HP等) ・保幼小中との接続と連携	・心身の健康保持と協働し支え合う職員集団 ・チーム意識の醸成とリーダー育成 ・研修の充実による指導力・専門性の向上 ・業務の適正化、効率化、明確化	

